

オリコンサルHD 上期売上と利益更新 30年目標着実に到達へ

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは27日、東京都中央区の兜町平和ビルで2026年9月期第2四半期決算説明会を開いた。

野崎秀則社長は、30年9月期に連結売上高1100億円、営業利益70億円を目標とする「2030年ビジョン・中期経営計画」の達成に向け、「着実に到達する実績を積み重ねている」との認識を示した。

今上期の売上高は5・9%増の490億4600万円、営業利益が15・6%増の46億2000万円、当期純利益が22・1%増の35億円だった。売上高と各利益は過去最

高を更新した。通期の連結業績見通しに変更はなく、通期の売上高と営業利益、当期純利益も過去最高を更新する見込みだ。

連結受注高は464億4600万円で、このうち海外市場は36・9%増の215億4500万円ですべての46%を占めた。開発途上国でのインフラ整備需要が旺盛だったことが寄与した。

オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長は今後の展望として、海外でのM&A（企業の合併・買収）を進めていく考えを明らかにした。「30年9月期までに100億円程度の売り上げと

なるM&Aができれば」との見解を示した。